

みよし ふれあい 支え合い
心がひとつに

社協だより

No.111

令和4(2022)年 8月10日発行

発行

ふれあいネットワーク

社会福祉法人

三次市社会福祉協議会

〒728-0013 三次市十日市東三丁目14番1号
三次市福祉保健センター内

☎ (0824) 63-8975(代表)

☎ (0824) 63-3340(地域福祉課)

FAX (0824) 62-6827

E-mail: mycity@cc.wakwak.com

<https://www.miyoshi-shakyo.com/>



あのまちこのひと

みいつけた!

主な内容

- 2P... ボランティア特集
- 3P... ..
- 4P... 福祉体験学習 ほか
- 5P... 令和3年度事業報告・会計決算
- 6P... まごころ
- 7P... 成年後見制度講演会案内 ほか
- 8P... お知らせ情報コーナー

その地域ではちょっと知りた人物や活動、
みなさんの地域で見つけた素敵な日常のひとコマを紹介します。
今回は君田町の 加島 みよ子さん をパシャリ📷。
16年前にはじめた太極拳、今では地元を中心に講師として活躍されて
います。多趣味でいつも若々しいご本人をP.7でも紹介しています。

ボランティアに参加してみませんか

ボランティア活動ってなに？

“ボランティア”のとらえ方は広く、身近な地域の活動から被災地での復興作業など、内容はさまざまです。

基本は、よりよい社会を自分たちでつくるため、“自主的・自発的”に行い、お金ではなく“人との出会いや感動、経験”がやりがいとなること。

わたしたちの社会には多くの課題が存在し、それを改善していくためには一人ひとりが考え、協力し、力を合わせて行動することが必要です。

たとえば…



子どもの見守り



地域の清掃

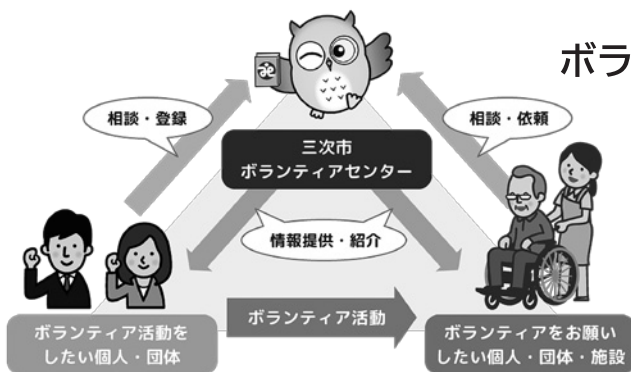


生活支援
(ゴミ出しなど)



活動への募金

ボランティアセンターの役割について



ボランティアセンターでは、ボランティアに関する様々な相談に応じています。活動先や、ボランティアをしてくださる方を紹介したり、現在活動をしている方々へ情報提供などのお手伝いもしています。

三次市のボランティア団体を紹介します！

市内には様々なボランティア団体があります。その中でボランティアセンターの登録団体は50団体、年間で約2140名の方が活動をされています（R3年度）。活動団体の一部をご紹介します。



ボランティアグループみよし

市内の福祉施設を訪問しての清掃作業や、地域毎でサロン活動や配食サービスなどに取り組まれています。「会員の高齢化やコロナ禍で、従来の活動はむずかしいですが、雑巾を縫って施設へ届けるなどできることをさせてもらいます。」



STEP☆Dog&Cat (ステップ☆ドッグアンドキャット)

3名の方が中心となり、飼育がむずかしい犬猫の保護や譲渡会開催の活動をされています。「貰われた犬猫が幸せに暮らせる環境を考えると里親さん探しも大変ですが、私たちができることをお手伝いしていきます。」



三次点訳サークル“ほおずき”

点訳は文字を点字に訳し、視覚障害者へ情報を伝える活動。サークルでは、編集した会報や季節の挨拶状を約 30 名に届けたり、当事者の方と手紙をやりとりされています。「細く長く、楽しく、お一人でも支援することがモットーです。」



ひよっと踊ろう会（和田）

地域行事や福祉施設で、ひよっとこ踊りや寸劇を披露。高齢になり人数は減ったものの、地域の中で引き継がれて活動されています。「敬老会では小学生と一緒に練習し披露するなど、子供の記憶にも残る活動として続けていきたいです。」



コスモス（布野）

町内の介護施設で掃除や畑仕事を仲間と一緒に手伝わられています。施設の隣にある畑の野菜の成長は入所者さんも楽しみにされているそうです。「今は入所者の方と交流できませんが、作った野菜を喜んで食べてもらえるのが励みです。」



三次朗読奉仕者友の会

文字を朗読・録音し、視覚障害者などへ届ける活動で、定例会では、アクセントや抑揚を練習するほか、小学校で読み聞かせもされています。「朗読は広報誌や新聞のコラムなど様々、利用者からの“助かった”という声がうれしいです。」



三次手話サークル「竹」

手話講座の修了生が昭和 47 年に立ち上げ、すくすく伸びるようにと“竹”と命名。お互いの技術を高めたり、手話を広める活動をされています。「定例会では、手話を使って、ろうあ者と気軽に楽しく会話をしています。」



三次市要約筆記サークル「うかい」

手書きやタイピングで音声を文字に変換し、聴覚障害者に情報保障をする要約筆記のサークルです。「定例会では勉強会や情報共有をしています。毎年開講の要約筆記養成講座をぜひ受講してください。」

介護のフロと一緒に学ぶ“福祉の体験学習”



当会が、学校から依頼をいただく「高齢者疑似体験」などの福祉体験学習を、市内の介護施設・事業所と一緒に行いました。

これは、広島県介護福祉士会が介護や介護職についての理解促進のために取り組まれている「介護プチ講座」と協働したものです。

今回は神杉小学校(3年生)と三和中学校(3年生)を対象に、グループホームかわち「ぬくもりの家」の角谷さん、日高さん、福祉用具貸与事業所のプロテアさんなどにご協力をいただきました。

高齢者が抱える不安や負担を、体験を通して感じてもらい、接し方や介護の仕事について、当事者の生活を日々支援されているプロから伝えてもらう授業を、児童・生徒のみなさんも真剣に受けていました。

当会では、三次市身体障害者協会と一緒に「障害への理解に関する授業」にも取り組んでおり、地域や福祉に関わる当事者発信の取り組みを広げていきたいと思えます。



多種多様な車いすを体験



加齢による体の変化や支え方を体験



手足に重りとサポーターを装着

家族介護者交流のつどいを開催しました!



まるっとわかる! 食事と栄養

～あつという間にできる簡単料理の紹介～

7月14日(木)十日市きんさいセンターで在宅で介護をされているご家族の方を対象に、管理栄養士の本藤望美さんから「食事と栄養」について学び、缶詰などを使用した簡単料理の調理実習を行いました。毎日の食事作りに悩んでいるという方も「短時間でできる料理で良かった。家でも作りたい。」と話されており、今後の食事作りの参考にさせていただいたのではないかと思います。

令和3年度 二次市社会福祉協議会 事業報告

令和3年度三次市社会福祉協議会の事業報告・収支決算が6月6日開催の理事会、6月22日開催の評議員会でそれぞれ認定・承認されました。

「法人運営」

三次市福祉保健センターの指定管理を新規に受託し、適切な管理運営に努めました。また、市の方針に基づいてグループホームみらさかの事業運営を民間事業者へ引き継ぐことを決定しました。運営検討委員会や総務部会のほか、「今後の社協のあり方」をテーマに理事

「地域福祉事業」

新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続き令和3年度もサロンやはるかゼネット、甲奴ゆげんきなどの地域福祉活動は、活動自粛や休止が長期にわたりました。令和3年度は第5次地域福祉活動計画の中間年度にあたり、中間評価委員会を設置し、これまで

「介護保険事業」

利用者の減少や感染症の影響が続いています。適切な人員配置等の事業所運営の改善や安定的、かつ質の高いサービスを効率的・効果的に提供していくために法人内事業所間の連携、相互支援に取り組みました。なお、コロナ禍での介護サービスが途切れないよう、感染防止対策を講じながら支援の継続に尽力しました。

「その他」

共同募金事業、日本赤十字社事業への協力、「ボランティア養成講座」「家族介護者交流」などの市受託事業を行いました。

令和3年度 三次市社会福祉協議会会計決算

収 入	
科 目	単位：千円
会費	5,430
寄付金	7,391
経常経費補助金収入	65,176
受託金収入	110,534
貸付事業収入	45
事業収入	18,727
負担金収入	66
介護保険事業収入	447,124
障害福祉サービス事業収入	20,406
受取利息配当金収入	4
その他の収入	4,734
合 計	679,637

支 出	
科 目	単位：千円
法人運営事業	30,052
地域福祉事業	57,686
在宅福祉事業	27,155
健康づくり事業	23,326
ボランティア活動支援事業	1,674
貸付事業	3,401
共同募金助成事業	6,941
介護保険事業	436,079
障害福祉サービス事業	20,314
指定管理施設運営事業	77,432
合 計	684,060

後見人が誕生しました。さらに、コロナ禍での生活費に困窮している人へ緊急小口・総合支援資金の貸付を行い、自立支援に取り組みました。

昨年8月の豪雨災害では家屋片付け支援の広報を行うなどとして、ボランティアセンターでは被災者世帯の情報収集、支援を行いました。また、福祉教育の推進として障害者団体と協働し、障害への理解に関する啓発授業を市内小中学校へ働きかけ5校で実施しました。

まごころ

たくさんのご寄付ありがとうございました。

お預かりしましたご寄付は、各地区社協の活動費、市社協の地域福祉事業へ大切に活用させていただきます。

(介護保険事業には充当しておりません)

令和4年5月21日
～令和4年7月20日受付分

- ①本会への寄付金については所得税法による寄付金控除が受けられます。
- ②寄付者ご本人の承諾のもと氏名等を掲載しています。

本所

●香典返し

上田町 若林 直樹
向江田町 中村 正紀
向江田町 尾田美知子
三若町 矢野 清
十日市中 常光 英子
向江田町 張木サチエ
福山市日吉台 川端 等
後山町 實近 正則
十日市中 永谷 良和
東京都八王子市 光宗 政治
南畑敷町 川中サクエ
高杉町 南 正純
上志和地町 西田 敏哉
向江田町 坂口 平子
島敷町 前反 孝之
十日市中 花園 量三

広島市東区牛田新町

江田川之内町 丸田 久司
十日市中 福田 博明
江田川之内町 福島 道雄
南畑敷町 井上 和章
小文町 赤木 実
三次町 大田 隆司
島敷町 光下 建治
向江田町 皆ヶ瀬義治
十日市西 高田 鉄也
栗屋町 鳥谷 博文
糸井町 中岡 哲男
島敷町 山田 恵子
向江田町 小木戸春登
青河町 西井伊津子
十日市南 町里 満義
高杉町 岩井 孝二

島敷町

●見舞い返し

田中 春人

●一般寄付

野村 節子

三和町福田

●香典返し

君田支所

●香典返し

穴戸眞須美

四拾貫町

東入君

布野支所

●香典返し

原田 良三

上布野

下布野

下布野

上布野

●見舞い返し

横谷

下布野

横谷

下布野

横谷

●一般寄付

下布野

横谷

作木支所

●香典返し

中村 修

下作木

香淀

西野

●一般寄付

森山東

吉舎支所

●香典返し

有重 護

辻

安田

敷地

敷地

辻

敷地

●見舞い返し

敷地

三良坂支所

●香典返し

三良坂

三良坂

三良坂

灰塚

兵庫県姫路市

鳥取県米子市

東広島市高屋高美が丘

仁賀

仁賀

●一般寄付

中本千鶴子

長田

三和支所

●香典返し

重信 幸枝

上巻

大力谷

下板木

有原

下板木

上板木

●見舞い返し

吉友 清子

栗矢 洋子

笹岡 文子

貴正 和広

宮崎美津恵

下板木

下板木

下板木

下板木

下板木

下板木

下板木

下板木

下板木

下板木

三次市社協が行う福祉サービスへの
苦情やご意見はございませんか?
三次市社協 **苦情解決をご利用ください**

【苦情の受付】
面接、電話、書面などにより苦情解決受付担当者が随時受け付けます。第三者委員に直接申し出ることもできます。

【第三者委員】
長谷川眞義 〒728-0211 布野町横谷 57 ☎0824-54-2188
細美 好宏 〒729-6702 三和町敷名 1903-2 ☎0824-52-3322
岡本 一彦 〒728-0021 三次町 1762-5 ☎0824-62-4573

☎三次市社協への寄付金の使途
社会福祉法人三次市社協への寄付金は、7割が寄付者の地区社協の活動資金、残り3割が三次市社協の実施する地域福祉事業に充当されます。また、個人は所得税法の寄付金控除、法人は法人税法上の損金算入が出来ます。(確定申告時に当会発行の領収書が必要)

朗読ボランティア養成講座

- 日 時 令和4年9月17日～12月17日
(全4回)第3土曜日
13:30～15:30
- 場 所 三次市福祉保健センター 4階研修室
- 対 象 朗読ボランティアに関心のある方で、
三次市内においてボランティア活動をして
いただける方
- 講 師 三次朗読奉仕者友の会
- 内 容 朗読、実技、発音、文書の読み方の
基礎技術
- 参加費 無料
- 申込締切 令和4年9月7日(水)
- 共 催 三次朗読奉仕者友の会

令和4年度 成年後見制度講演会

「成年後見制度の 使い方と活用例」

判断が難しくなった方への支援について、具体的な例をもとにわかりやすく説明します。

- 日 時 令和4年10月1日(土)
13:30～15:00(開場 13:00)
- 場 所 三次市福祉保健センター 4階
ふれあいホール
- 講 師 庄原市空き家解決専門家ネットワーク
代表理事 司法書士 飯田 一生 氏
- 参加対象 どなたでもご参加ください(要予約)
QRコードからも予約可能です。

※手話通訳・要約筆記をご希望の方は事前にご連絡ください。
※新型コロナウイルスの感染状況により、中止もしくはオンライン
(Zoom等)にて開催させていただく場合があります。

ご予約・お問合せ先／三次市社会福祉協議会
電話：0824-63-3340 FAX：0824-62-6827
E-mail：momiji@bd.wakwak.com



家族介護者交流のつどい

～自分のための時間をつくって気分転換～

- 日 時 令和4年10月13日(木)
10:00～12:00
- 場 所 奥田元宋・小由女美術館
- 対 象 三次市内にお住まいの方で、要介護
1以上の認定を受けられた方を在宅で
介護されている家族介護者の方
- 内 容 美術館の常設展や企画展を観覧した
あと、お茶室にて参加者同士の交流会
を行います。
※企画展…「親愛なる友フィンセント
動くゴッホ展」
- 定 員 10名(申込先着順)
- 参加料 無料
- 申込締切 令和4年9月30日(金)
※送迎が必要な方はご相談ください。

広島県共同募金会より

赤い羽根共同募金 「地域テーマ募金」 公募助成のお知らせ



広島県共同募金会では、地域で起こっている福祉課題の解決に向けて事業を企画実施する助成団体を募集しています。

○助成対象となる事業(例)

- ・小地域の福祉課題を解決する事業
- ・地域住民が自主自立して行う地域福祉活動
- ・一般市民が応援したい事業、わかりやすい事業

○応募方法

市社協本所へ備え付けの応募用紙に必要事項をご記入の上、10月31日(月)までに提出してください。

あのまちのひと

みいつけた!



加島 みよ子さん (君田)

大病をして弱っていた時期に太極拳と出会った加島さん。始めてみると相性ピッタリで、風邪も引かないくらいに元気になったそうです。

その経験を知人に話し、始めた教室が町内に広まって、現在は君田生涯学習センターで月2回、教室を開催されています。

それ以外にも押し花、手芸など多彩な趣味を持つ加島さん。楽しむコツは「先は短い。今を楽しく笑って過ごす」だそうです。



※各ご案内等について、新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止・変更する場合があります。

お問合わせ 三次市社会福祉協議会 地域福祉課 TEL 0824-63-3340 FAX 0824-62-6827
または、お近くの市社協各支所まで

お知らせ情報コーナー

8・9・10月の予定

ふれあい福祉相談

～安心は相談から 秘密厳守 相談無料～
場所 三次市福祉保健センター 2階相談室

種別	相談日	時間	相談員
心配ごと相談 介護相談 権利擁護相談	月曜日～金曜日 (祝日は除く)	8:30～17:30	社会福祉協議会 専門職員
電話相談	☎0824-63-3340		
法律相談	9月10日(土)	13:00～15:00	弁護士
	※事前に予約が必要です。申込締切 8月31日(水) 予約先 ☎0824-63-3340 FAX 0824-62-6827 ※相談のお申込みは定員になり次第締め切らせていただきます。 時間はお一人30分程度とさせていただきます。		
手紙(FAX)相談	宛先 〒728-0013 三次市十日市東三丁目14番1号 「三次市社会福祉協議会相談室」 FAX 0824-62-6827		
電子メール相談	E-mail: fureai-soudan3@ca.wakwak.com (専用アドレス)		

ボランティア活動保険・行事用保険

	ボランティア活動保険	ボランティア行事用保険
内容	ボランティア活動中における、さまざまな不測の事故によるケガや賠償責任を補償します。	
保険料	基本プラン 1人 350円 天災・地震補償プラン 1人 500円 特定感染症重点プラン 1人 550円	1名 1日あたり 28円 最低保険料 560円
補償期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日まで *中途加入の場合は、加入手続き完了日の翌日から 令和5年3月31日まで	行事開催期間 *詳細はお問合わせください。

*ご加入はお近くの市社協本所および各支所へお申し込みください
*ボランティア活動保険の加入には三次市ボランティアセンターへの登録が必要となります
*行事用保険について、現金で払込みをする場合は1月17日より料金が加算されることになりました(110円/件)

各種定例会 ◆場所 いずれも三次市福祉保健センター

- 要約筆記サークル「うかい」定例会
【開催日時】毎月第1金曜日20:00～
(オンライン開催)
毎月第3土曜日9:00～12:00
- 三次朗読奉仕者友の会定例会
【開催日時】毎月第3土曜日13:30～16:30
- 点訳サークル「ほおずき」定例会
【開催日時】毎月第2・4火曜日18:30～20:00
- 手話サークル「ゆい」定例会
【開催日時】毎月第2・4土曜日10:00～11:30
※会場が変更になる場合があります。
参加を希望の方は事前にご連絡ください。
(三次市社会福祉協議会 電話 63-3340 FAX 62-6827)
- 三次手話サークル「竹」定例会
【開催日時】毎月第1・3・5木曜日18:30～20:00

貸出・派遣

- 録音テープの貸出
市広報や市議会だより、市社協だよりなどの録音テープを、視覚障がい者の方へ貸し出しています。
- 手話・要約筆記の派遣
聴覚、音声、言語機能等に障がいがある方へ、手話通訳者、要約筆記奉仕員を派遣しています。
お問合わせは三次市社会福祉協議会地域福祉課へ
電話 0824-63-3340 FAX 0824-62-6827

編集後記

立秋を迎えたとは言うものの、暑い日が続くとつい冷たい物に手が伸びてしまいますね。摂りすぎて夏バテ…にならないように、よく寝てバランスよく食べて！適度に運動を取り入れながら、残暑も元気にお過ごしください。